

適切な検診の選択強調

美浜町和田の独立行政法人国立病院機構和歌山病院は23日、市民公開講座を開き、技師らが「乳がん検診と治療」について説明した。

同院放射線科の菊川絢子撮影透視主任はマ



マンモグラフィで話す菊川さん

ンモグラフィ検診で講話。乳がん検診には視触診、超音波、MRI、マンモグラフィの4種類あり、マンモグラフィのみ継続受診で乳がん死亡率減少に効果があり、費用対効果に優れていることを説明

和歌山病院で乳がん講座

した。一方でマンモグラフィは乳腺密度が濃い乳房は発見しにくいなどの特徴を紹介し、検診を受けることで自身の乳房の状態を確認し自分に適切な検診を選択する必要性を強調。最後に「検診を先延ばしにしている間に女性の乳がん罹患率は30人に1人から12人に1人まで上がっています。早く見つければ治る病気。大切な身体のため検診を受けましょう」と呼びかけた。

県立医科大学附属病院の宮坂美和子助教は「乳がんの治療」をテーマに話した。